



豊かな生活基盤創造と地域貢献を目指して

## 有限会社 高須賀農産

### 経営理念

- 豊かな生活基盤を創る
- 地域社会に貢献する
  - 環境に優しい
  - 次世代が働きたくなる
  - 楽しい農業をする

### 1 経営内容

- (1) 栽培技術の特長  
新技術への積極的取り組み～大豆摘心技術、麦省力施肥技術等を先駆的に実施し成果をあげ、現在では経営内のみならず旧桃生町内へも波及させている。
- (2) 販売の特長  
系統販売の活用～販売は全てJAを通じて行っている。このことにより、JA倉庫の利用等のメリットを活かすことができる。
- (3) 経営組織の特長
- 他組織との交流による組織強化～宮城県農業法人協会・石巻法人会・石巻商工会議所等の関連団体に参加し、他団体との交流を深め組織の経営力強化に努めている。
  - 機械の適正管理～1級農業機械整備技能士の資格保有者を採用し、組織の機械管理の適正化に努めている。
- (4) 労務管理の特長
- 安心した職場環境の整備～各種福利厚生を実施しているほか、中小企業退職金制度に参加し、社員が安心

して働ける環境整備に努めている。

### (5) 経営管理の特長

- 経営状況の的確な把握  
税理士事務所による月次毎監査を実施し、経営状況の動きを的確に捉えている。
- JGAP認証取得による安全・安心の強化  
H22にJGAP認証を取得し、食の安全・安心の強化に努めている。

### (6) その他の特長

- 新技術・情報等について、JA等を通じて地域へ発信し他組織と共有化に努めている。
- 農業管理指導士を社内に2名配置し農業のよりの確な使用に努めている。
- 各種組織に参加するとともに研修会等へは積極的に参加し、情報収集を図っている。

### 2 これまでの経過

#### (1) 法人化するまでの特徴的な取り組み

地域内の7戸の農家で水稻の共同作業を古くから実施していたが、この共同作業集団を母体として平成7年に5軒で各種機械・ライスセンター等の利用のため任意組合(高須賀生産組合)を立ち上げた。

#### (2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過、法人化後の変化

高須賀生産組合の活動を進めていく中で、水田転作(麦・大豆)への取り組みの拡大と組織構成員の世代交代による若返りが進み、より強固な組織の必要性の気運が高まり、法人化への契機となった。

## プロフィール

(農業地帯)平地農業地域(組織形態)オペレーター型(エリア)JA支店(農地集積率)-%

### 経営概要

水稻11.2ha 大麦33.6ha 小麦21.8ha  
大豆55.4ha 稲穂様転作20.0ha 作業受託(耕起、代かき、田植、育苗、収穫一貫作、畦塗、無人ヘリ防除)

### 主な施設・機械の保有

乾燥機10基 糶摺機2台 コンバイン5台  
トラクター7台 田植機2台  
ドリルシーダー1台 計量選別機3台  
パワーハロー4台 ロータリーカルチ2台  
ラジコンヘリ1機 フォークリフト2台  
乾燥調製施設2基(510㎡) その他各種機械多数

### 構成員等

役員5名 常時雇用2名 臨時雇用

法人設立年月日	平成16年4月1日
認定農業者認定年月日	平成21年6月30日(更新)
出資金	300万円
販売額	1億3000万円(平成23年度)

### 役員名

代表取締役 熊谷和彦 取締役 遠藤貞俊  
取締役 細川公 取締役 野村秀宏  
取締役 高橋寛治

### 所在地

〒986-0324 石巻市桃生町高須賀字内畑63番地1  
TEL.0225-79-1305 FAX.0225-79-1306

### 主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

食料自給率向上・産地再生緊急対策交付金事業(H23)

### E-mailアドレス

takasukanousan@mild.ocn.ne.jp

### 過去の表彰

平成14年 宮城県農業コンクール 宮城県農業賞  
集団部門  
平成15年 全国農業コンクール 優秀賞  
(前身組織の高須賀生産組合名で受賞)

### 3 今後に向けて

#### (1) 解決すべき課題と現在検討中の対処方策

- 地域農業の担い手としての位置づけ  
地域農業の担い手が減少していく中で、今後法人の地域農業の担い手としての役割が増大していくことが想定される。  
このため現在可能な限り施設の拡充等を図り、地域農業の担い手として機能していける体制を整備している。

#### (2) 今後に向けての経営戦略

- 意識改革と後継者の育成  
農業情勢等を敏感に察知し、経営を円滑に運営していくことが、これまで以上に必要であると感じている。  
このため現経営陣の意識改革を進めていくとともに経営センスに優れた後継者を育成していく。

### 略図



### 視察受入条件

- 視察料 1~2万円
- 視察時間 2時間程度
- 申込先 電話等で直接申込み